

第3次四国中央市健康づくり計画（案）に係るタウンコメントの結果について

1. 周知方法 市公式ホームページ、市公式LINE、広報誌
2. 閲覧場所 保健推進課、各窓口センター、三島図書館、川之江図書館、土居図書館、市公式ホームページ
3. 募集期間 令和6年12月24日～令和7年1月22日（30日間）
4. 提出者数 4 名
5. ご意見等の件数 16 件
6. 修正した件数 2 件
7. 意見の要旨及び市の考え方
（いただいた意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させていただいております。）

NO.	意見の要旨	市の考え方	計画修正の有無
1	妊娠期の歯周病は早産などのリスクが高くなるため、思春期から歯肉炎予防のための知識を高める。	P34(3) ■ライフステージに応じた歯や口腔の健康づくりに関する健康教育や啓発の項目に、「妊娠期の歯周病は早産などのリスクが高くなるため、思春期から歯肉炎予防のための知識の普及啓発を行います。」を追加します。	有
2	P22 円グラフについて、他のグラフと同様にカラーにしてはどうか。	P22 達成状況の割合の円グラフについて、カラーに変更します。	有
3	空き店舗等を利用して運動できる施設（チョコザップ）を誘致してほしい。	チョコザップの誘致やスポーツジムの温水プールの修繕などにつきましては、民間事業者の経営判断に拠るものと考えます。	無
4	西岡病院併設のスポーツジム「ピピタ」の温水プールを修繕して復活させてほしい。	今後、本計画の基本方針Ⅱ社会環境の質の向上の基本施策2健康へと導く基盤づくりにおいて、身体活動や運動に取り組みやすい環境づくりに努めてまいります。	

5	車を運転できない人でも運動施設に通いやすい無料シャトルバスを利用できるようにしては。	車を運転できない人も運動施設に通えるためには、交通手段を検討する必要がありますが、市内の運動施設は民間が経営しているところがほとんどで、シャトルバスの運用については、民間事業者の経営判断に拠るものと考えます。 本市では、身近な公民館や集会所等、歩いて行ける場所に、顔なじみの人が週1回以上集まり、貯筋体操を行う通いの場づくりを推進しています。車を運転できない人でも参加できる場として利用していただければと考えます。	無
6	「愛媛県で最も医療費の高い四国中央市」を見える化してポスターにして市民の方に意識づけする。	県内で四国中央市の医療費が最も高いというデータの把握はしてありませんが、愛媛県ビッグデータ（国保と協会けんぽのレセプト分析）より、主な疾患の受療率は把握することができます。本市の入院外の受療率で県に比べて有意に高い疾患は、急性心筋梗塞（男女）、虚血性心疾患（女）です。 市民の健康意識を高めるためには、健康状態を見える化し、わかりやすく伝えることは重要です。市が把握できる健康に関するデータを見える化し、市民の皆さまに分かりやすい形で啓発するため、ご意見を参考にさせていただき、ポスターの作成、周知・啓発方法を工夫するなど、検討いたします。	無

7	医療費の高い要因、治療に係る医療費で多い疾患とその病気の要因を知りたい。	愛媛県ビッグデータ（国保と協会けんぽの特定健康診査結果）では、肥満、メタボ、高血圧は県に比べ高いことが分かっています。このような所見は、心疾患や脳血管疾患等を引き起こす要因になります。 一般的に生活習慣病の要因は、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣のみならず、遺伝的要因や社会環境要因などの複数の要因が影響すると言われています。 本市の市民アンケート調査では、偏った食生活や運動不足、休養不十分などの割合が高い状況です。	無
8	教育現場の給食について、添加物不使用の調味料やだしを使うことが最優先。	幼少期からの食習慣は将来の健康に影響するため、食育の推進は重要です。	無
9	子どものおやつは、添加物の入っていない昔ながらのおやつを提供してほしい。	保育園では、できるだけ和風だしやにぼし、昆布を使うようにしており、週に3回手作りおやつを提供しています。 今後も庁内関係課で構成する食育推進連絡会において、共有させていただき、食育の推進に努めてまいります。	
10	お茶は、消毒されたものではなく、地元の持続可能に育てられるお茶を選んでいただきたい。	食育推進計画において、食育に根差した地産地消の推進を掲げており、安全な食材を選択する力を養うため、食の安全に関する講習会の開催や地元産物の利用を促進します。	無
11	粉塵や湿度が高い時の臭いを改善してほしい。	環境に関する課題につきましては、四国中央市環境基本計画に基づき、四国中央保健所等関係機関と連携し、対応を適宜行っています。	無

12	スマホで歩いてポイントを貯めて買い物ができるような試みはどうか。	本市では、愛媛県健康アプリ（kencom）の利用を推進しています。歩くことでポイントが貯まると抽選でデジタルギフトが当たります。健康アプリ（kencom）の活用により、楽しみながら継続的に健康づくりに取り組んで頂けるよう、普及啓発に努めてまいります。	無
13	ヨガ、整体、武道など、幅広く講師を募り公民館でできるようにする。	市内の公民館において、ヨガや太極拳などの自主的なサークル活動や公民館事業として講師を依頼し教室等を行っています。今後、関係部署と連携を図りながら運動に取り組みやすい体制づくりに努めてまいります。	無
14	健康のために楽しく歩ける整備（歩道の整備、ベンチの設置、公園に健康器具を設置）を意識してほしい。	運動を推進するにあたり、健康のために楽しく歩ける環境整備は重要と考えます。健康器具を設置している公園の情報などを収集し、市民にわかりやすく伝えることができるよう努めてまいります。	無
15	古民家を利用して体と心を温めることができる施設が増えると高齢者の出かけるきっかけとなる。	高齢者の閉じこもり予防や健康づくりを図るうえで、身近に出かける場があることが重要です。 本市では、高齢者が身近な集会所や公民館等で週1回集まり貯筋体操を行う通いの場づくりを推進しています。現在78か所で実施されており、古民家を活用しているサークルもあります。筋骨格系疾患・骨折の予防のみならず、仲間づくりや地域の絆が深まるなどの効果もあり、今後も貯筋体操の通いの場を推進してまいります。	無

16	今ブームの登山やフィトンチッド（森林浴など）を市の健康プログラムに取り入れてはどうか。	保健センターが実施する健康教室では、生活習慣の改善に向け、健康づくり計画の6分野（食生活、身体活動・運動、歯の健康、たばこ、こころの健康、飲酒）をテーマに、日常生活に取り入れやすい内容で行っています。 引き続き、健康づくりについて幅広いテーマで情報発信できるよう努めてまいります。	無
----	--	--	---